

令和4年度（2022年度）

管理事業名	勤労者会館事業			総合計画の体系	大綱 7 都市魅力
					政策 1 地域経済の活性化を図るまちづくり
					施策 2 就労と働きやすい環境づくりへの支援
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 5	労働費	(項) 1	労働諸費 (目) 2 勤労者会館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	地域経済振興室		
事業の目的と概要 【目的】 勤労者の福祉の増進と雇用の安定のために設置された施設である勤労者会館において、指定管理者による運営の元、施設の設置目的を効果的に達成するため、勤労者の文化教養の向上、健康の増進、余暇利用の充実にかかる必要な情報の提供及び知識・技能の習得を図るための各種講座を実施している。 【概要】 ・指定管理による運営管理					

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
勤労者による貸室利用割合	%	45.6	56.2	56.3	利用件数全体のうち、勤労者の貸室利用の割合
プール利用者数	人	0	12,788	30,617	プールの利用者数
市が主催または共催で実施する雇用・労働に関するイベントの数	件	0	5	9	勤労者会館で、市が主催または共催で実施する就職面接会や労働関係セミナーなどのイベント数
市が主催または共催で実施する雇用・労働に関するイベントの参加者数	人	0	93	111	勤労者会館で、市が主催または共催で実施する就職面接会や労働関係セミナーなどのイベントに参加した人数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標2】プール利用者数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール利用者数30,617人（前年比：17,829人の増加） ・件数の増加は、令和3年8月まで大規模改修による休館をしていたことから増加となっているが、1日あたりの利用者数で比較しても増加した。（1日あたりの利用者数：令和3年度72.7人/日、令和4年度103.1人/日） <p>【成果指標3・4】イベントの数及び参加者数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの数9件（前年比：4件の増加） ・イベントの参加者数111人（前年比：18人の増加） ・新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を行い、関係機関と連携し、就職面接会やセミナーを実施した結果、イベントの回数及び参加者数共に増加した。 <p>【財務情報に基づいた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数が増加したことにより、施設の使用料が増加した結果、受益者負担比率が4.2ポイント上昇（4.6%→8.8%） ・減価償却費が令和3年度対比7.2ポイント増加した。（20.3%→27.5%） 	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>勤労者会館は、勤労者の福祉の増進と雇用の安定に資するために設置された施設であるため、勤労者の利用割合を向上させる必要がある。そのため、各種講座等の実施方法を工夫するなど、勤労者にとってより魅力的な事業内容となるよう、指定管理者と連携し効果的な事業実施を検討していく。</p>
--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	522	9,755	9,234
未収金	-	-	-	地方債	-	9,174	9,174
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	522	581	60
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	877,242	831,280	△45,962	その他流動負債	-	-	-
土地	53,936	53,936	-	固定負債	184,319	175,167	△9,152
建物・工作物	823,306	777,344	△45,962	地方債	179,100	169,926	△9,174
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	5,219	5,241	22
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	184,841	184,922	81
建物・工作物	-	-	-	純資産	692,401	647,142	△45,258
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	785	785
重要物品	-	785	785	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	877,242	832,065	△45,177
資産の部合計	877,242	832,065	△45,177	負債及び純資産の部合計	877,242	832,065	△45,177

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	726	8,335	14,705	6,370
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	21	42	1,014	972
経常収入 小計(a)	746	8,377	15,719	7,342
給与関係費	6,432	6,399	6,512	113
物件費	71,047	135,829	113,509	△22,320
維持補修費	611	86	-	△86
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	966	17	33	16
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	17,476	36,467	46,143	9,677
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	592	522	581	60
退職手当引当金繰入額	883	320	486	166
支払利息	-	-	440	440
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	98,006	179,641	167,706	△11,935
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△97,260	△171,264	△151,986	19,277
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△97,260	△171,264	△151,986	19,277
一般財源充当額	89,027	380,331	106,728	△273,603
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△8,233	209,067	△45,258	△254,325

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	746	8,377	14,753	6,376
行政サービス活動支出	80,108	143,364	121,481	△21,883
行政サービス活動収支差額	△79,362	△134,987	△106,728	28,258
投資活動収入	-	150,000	-	△150,000
投資活動支出	9,665	574,444	-	△574,444
投資活動収支差額	△9,665	△424,444	-	424,444
財務活動収入	-	179,100	-	△179,100
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	179,100	-	△179,100
収支差額 合計	△89,027	△380,331	△106,728	273,603
一般財源充当額	89,027	380,331	106,728	△273,603
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】 使用料及び手数料	令和4年度は長期の休館はなく、安定的に貸室及びプール使用料を確保できたことから、使用料が増額。
【PL】 その他(経常収入)	令和3年度の改修時に調達した資産の重要物品への登録漏れにより、令和4年度に資産を登録したことに伴う調整額。
【PL】 物件費	令和3年度中に、大規模な改修工事は完了したため、令和4年度の物件費が減額。
【PL】 減価償却費	令和3年9月のリニューアルオープンに伴う大規模改修工事によるもの。令和4年度は令和3年度に対して、通年での計上となるため、減価償却費が増額。

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用1人あたりのコスト	コスト 8,310円	コスト 4,573円	コスト 1,872円
開館1日あたりのコスト	実績 942,369円	実績 902,717円	実績 483,302円
	コスト 104日	コスト 199日	コスト 347日

令和2年度から令和3年度の間は大規模改修工事が完了し、令和4年度は通年で開館できたため、コストの大幅な圧縮となる。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	7,495	-	0.90
会計年度任用等	84	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	7,579	-	-

分析指標

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		68.5	43.5	46.7	3.2
施設維持補修費比率		0.1	0.0	-	0.0
経常費用対公共資産比率		11.2	12.3	11.5	△0.8
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.7	4.6	8.8	4.2
一般財源充当比率		99.2	53.0	87.9	34.9